

少しだけ 近づけた気がする

～追手門学院大手前中等高等学校 アンケート集計報告～

「近くて遠かった」やはりと言っても良いだろう集約すればこの一言に尽きるような気がする。昨年 1 1 月に実施したアンケートを私見ではあるが ポイントと思われるところをPICK UPしてみよう。

まず {表 1} を見て頂きたい。この表からは山桜会に対して現役生徒達の認知度と協力意識の有無を見て取る事が出来る。結果は一目瞭然。「認知度はあるがそれほど協力しようとは思っていない」と言う事である。私達山桜会会員もこのアンケートをチャンスととらえ今までの活動を反省するとともに㊦の回答でYESの数字を少しでも多く積み重ねてもらえることを目標に現役生徒の皆さんと一緒に活動を発表・そして実行するように努力していかなければならない。

{表 1} 山桜会に対する質問事項 (○囲みの数字は質問番号です)

質問事項：①山桜会が追手門学院卒業生の校友会であることを知っていますか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
YES	54	86	104	108	96	98
NO	60	38	19	22	22	13

質問事項：㊦卒業するとあなたも山桜会会員に登録されますが山桜会に入って活動したいと思いませんか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
YES	33	28	28	22	27	15
NO	82	95	93	88	87	86

次に「学校に対しての質問事項」について考えることにしよう。{表2} からは現役生徒達の母校に対する様々な思いを感じ取ることが出来る。

{表 2} 学校に対する質問事項 (○囲みの数字は質問番号です)

質問事項：③全般的に見て現在の追手門学院大手前中等高等学校は好きですか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
大好き	9	11	9	13	0	31
好き	52	34	37	36	36	33
嫌い	15	34	41	36	45	21
別になんとも思わない	37	45	35	42	36	26

質問事項：㊡あなたは追手門学院大手前中等高等学校の生徒であることを誇りに思いますか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
YES	79	69	58	52	42	71
NO	32	56	64	70	69	37

質問事項：㊦あなたは兄弟・親戚・友人などに追手門学院大手前中等高等学校への進学を勧めますか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
YES	54	45	40	38	14	38
NO	57	78	81	86	99	59

③・㊡2つの表の比較をすると共通点が見えてくる。中1・高3で学校に対して肯定的な思いが、そして中2～高2までの生徒達は学校に対して否定的な思いを抱いている。この現象はいたしかたない部分もあるうかと思うがそれにしても否定的な意見がもう少し少なくとも良いのではと感じる。そこで もう一歩踏み入れ㊦の表を取り込んで考えよう。すると {表2} の結果から、私たちは重大な、決して逃げて通ることの出来ない

現実を直視することになる。前述のとおり㊢・㊤の結果からは学校に対し中1・高3の生徒達から肯定的な意見が聞かれるのであるが、㊦ではそれが全く逆転現象となって生じている。質問内容はさほどかけ離れていないのにこのような現象が生じたのは何故か？そこにはある一定の満足感と現実のGAPに直面する生徒達の姿を垣間見る事が出来る。つまり中1では希望に満ち溢れ中学生生活と言う未知の世界が新鮮に映っている。高3では中学・高校と様々な思い出が交錯し学校に対し惜別の念が生じていると思われる。いい友達が出来、「これから頑張ろう・色々あったが楽しかった」スタートとゴール地点は両極端であるが、友達関係を中心とした良い思いが、共通しているのではないだろうか。しかし自分達の肉親には「追手門を勧めない」それは勉強特に受験が大きなウエートを占めているように感じてならない。いざ受験の事を考えると他人事では済まされない。もっと勉強に力を入れ有名大学などの進学率が良い学校を考えてしまうのであろう。先生が思っている以上に生徒は学力の向上を、受験のことを真剣に捕らえているように感じた。しかし、いかんせん気づく時期が遅いのは否定できない。先生は生徒達に少しでも早くそれを気づかせる義務がある。そして私たち卒業生もそのフォローを積極的にしていかなければならない。{表2} からは何回も繰り返すことになるが、ある一定の満足感と現実のGAPを私たちは如実に受け止めることになる。

最後にもう一つ、先生の生徒達に対する接し方について 生徒達の考えをまとめよう。

{表3} からは 生徒達が自然に何の企てもなく答えたと思われるYES・NOの単純な返答から非常に興味深い結論を導き出すことが出来る。

{表 3} 学校に対する質問事項 (○囲みの数字は質問番号です)

質問事項：㊡先生はあなたの相談に親身になってくれますか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
YES	68	77	83	72	83	75
NO	46	43	39	54	30	34

質問事項：㊦先生の生徒に対する接し方は公平だと思いますか？

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
YES	43	63	62	52	64	52
NO	70	61	61	75	51	54

「親身になってくれるけど 不公平」これが生徒達の考えである。どうということなのか？最初は疑問に思ったが フリースペース（アンケートの最後で作っていた自由な意見を書く欄）を読んでいるとその謎はとけた。つまり熱心な先生と熱心でない先生の差が非常に激しいと言うことである。フリースペースには「校則をだんだんキツクするのは良いが徹底しない。」「ある生徒には強くあたり、ある生徒にはあたらない」と言った不公平感がその欄にぎわせている。また反発も多い。ここまでフリースペースがこの案件に使われているのには私たちも驚いたぐらいだ。私たち卒業生が各先生の事について意見を述べることは筋としておかしい事は百も承知している。がしかし目をつぶって通過もできない深刻な問題であることは間違いない。校長先生・教頭先生にこのようなことを報告し学校として良い方向に進んで頂くようフォローすることが私たちの役目である。

以上 私見でアンケートの分析をさせて頂いた。きっともう少し奥深いところに真相はあるだろうと思う。しかしながら、今回のアンケートを通じて現役生徒達に「少しだけ近づけた気がする」のは私達の勝手な思い込みかも知れないがそれなりに進歩したと受け止めていきたい。この先どういう形で現役生徒達の意見を汲み上げていくか、その道が遥か彼方ではあるが見えているのは事実である。今まで卒業生は公の場＝山桜会として現役生徒達の考えを吸収できていなかったことを真摯に受け止め、次なる手を早急に打てるよう約束し又努力を惜しんではならない。

最後にアンケートにご協力頂きました先生方、そして何より追手門学院大手前中等高等学校の現役生徒の皆様 に心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

教育支援委員長 能登知己

委員会報告

IT推進委員会

本当に山桜会のホームページが出来るのか?という不安からスタートしたIT推進委員会。我が委員会は、川原会長の特別な思いが込められて発足致しました。10ある常設委員会の中で、一番幅広い年代(30代から80代)の委員構成であります。

昨年の12月1日をグランドオープンと位置付けて、ホームページの構成、内容について委員会において、検討に検討を重ねてきました。そんな意見交換の中から、山桜会の会員は全国に住んでいるのだろうか?という素朴な疑問から始まった会員分布図のページ。また、行方不明になっている方を可能な限り探し出そうと不明者一覧を設けております。ほかに、学校ごとでの卒業期がまちまちな為、換算表が必要じゃないかといった意見。恩師は、今何をされているのだろうか?という思いからの「恩師の今」と言ったように、気になる問題を出来るだけみなさんに伝えていこうと考えております。皆様に一番身近に感じて頂けるのは、同窓会の案内もページではないでしょうか。開催告知を山桜会ページ内で行っております。同窓会を開催される際は、是非こちらの方でもご利用下さい。

是非、山桜会ホームページにアクセスをお待ちしております。

IT推進委員長 馬場 耕一郎

<http://www.yamazakurakai.com>

渉外交流委員会

平成13年度、渉外交流委員会は、追手門学院校友会山桜会(以下は山桜会)と追手門学院小学校、追手門学院中等高等学校(茨木)、追手門学院大手前中等高等学校の学校関係者、PTA、現役学生との交流の場を設け、山桜会と追手門学院各学校との理解を深め交流が円滑に進む事を、目標に活動してまいりました。

昨年度 渉外交流委員会の主な活動としては、

9月23日 大手前中等高等学校文化祭においてい・焼きコーナーを出店

10月23日

茨木中等高等学校PTAスポーツ大会においてい・焼きコーナー出店又、ソフトボール大会に参加させて頂きました。

11月23、24日 小学校文化祭にもい・焼きコーナー、山桜会コーナーを出店 各、学校の教職員の皆様へのあたたかいご協力を頂き、現役学生との楽しい触れ合いの場を持つ事が出来、大変有意義な時間を持つてたと思っております。

又各学校の教職員の皆様との懇談会も企画し今の各学校の現状についての意見交換各学校の先生方との交流ができ、是非毎年懇談の機会を設けたいと思っております。今年度も、各学校、PTA、現役学生との交流を積極的に活動して行きたいと思っております。山桜会活動に興味のある方、是非活動に参加して下さい。お待ちしております。

渉外交流委員長 北村 寿彰

財務委員会

平成13年度当委員会の活動状況及び平成14年度以降の方針について報告致します。

当年度の活動については、山桜会の財政の運営及び管理を主目的としておりますので、日常的には各委員会より提出された活動資金の執行を確認すると共に、事務局において取り扱われる経営的費用の監査を中心活動として遂行してまいりました。結果、事務局の業務の充実が計られたと考えておりますが、今年度以降より一層の内容を高めていきたいと思っております。

又、将来的な問題点として、少子化による終身会費収入の減少がせまってきたっておりますので、当委員会において賛助金・寄付金収入等以外の収入源の確保を検討しておりますが、いまだ検討課題の段階の案件ばかりですので、会員皆様方におかれまして、財源の確保となる案件がございましたら是非お力添えいただけますようお願い申し上げます。

そのような状況でありますので、平成14年度予算案につきましても各委員会の活動予算が制限されます事、お詫び申し上げます。

財務委員長 石津 良行

文化活動委員会

昨年度より川原会長の元、新しい組織の中でスタートしました文化活動委員会ですが、理事、評議員の中から14名もの皆様に参加して頂きどうも有難うございました。

委員会開催は1回、行事も山崎散策の1回だけでした。大変少ない活動の中ご協力頂きました委員の皆様には感謝します。参加して下さいました会員の皆様も同様です。

今後はゴルフコンペ、見学会、講演会等、様々な行事を各委員会と意見を出し合い、長く続けていける企画を行う予定ですので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

文化活動委員長 大向 博

会則委員会

山桜会は会則以外に関連規定がほとんど明文化されていなかったため、会則委員会では、昨年度は内部規約である「慶弔規約」「理事会規程」を作成し、理事会の承認を得て発効いたしました。

只今は、近々導入予定の山桜会の年会費制に伴う会則変更および関連規定新設を協議しています。また、本案の中間法人化の協議も特別委員会の下で進行していますので、本案の根本規約である、会則の変更がこれから度重なることになると思っています。

経済界の基本法である商法が企業のグローバル化を目指して毎年いや半年毎に改正する現状を見るにつけて、山桜会の会則もその活発な活動に伴い、柔軟かつ迅速に現状に副うべく改正を続けていきたいと考えていますので、どうぞ、ご理解、ご協力をお願いいたします。

会則委員長 香山 恭慶

改革推進委員会

吾らの学院追手門校友会山桜会改革委員会としまして早や一年が過ぎました。この間の各委員会の活発な会議に参加、又小学校、大手前中高、茨木中高の各先生方との懇談会に積極的に参加し、あっというまに2年目に入り当委員会に報告会合しました所、風紀(誇り・尊厳)を守りしめる憲章(大憲章)を先ずもって作り、栄えある学院校友の人物を考えております。

会員各位のお言葉がありましたらお聞かせください。又、PTA方、先生方、生徒諸君、山桜会員の丸となるご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて昨今時代は流れております。やはり歴史があればこそ今日がある。この今日に恥じることなく、継承するには、積極的な対内外活動と友愛しかないと思います。よって、波が2年目より少し立つかも知れません。諸君!母校のための母校に”心”を掌中してください。

改革推進委員長 佐藤 文一郎